

## 「評価結果の概要」

### センターが把握している圏域の特徴

圏域人口：64,714

高齢者人口：15,940

高齢化率：24.63%

ニュータウン建て替えや規制緩和により高層マンションが増えており、圏域内人口は年々増加。高齢化率は5年前と比較しても同程度の数値であるが、高齢者はおよそ1,000人増えている。子世帯が遠方に暮らすケースも多く、身近な支援を受けることが少ない現状で独居世帯や老老世帯も増えている。商業施設が身近にありながら緑も多く、住みやすい町と感じている高齢者は多い。他方、坂道や階段なども多く存在し、高齢者の移動が困難となっている。

### センターの取組方針や特徴

#### 【センターの運営方針】

・豊中市地域包括支援センター運営方針に沿って事業計画を立て取り組んでいる。  
「地域包括ケアシステムの構築」を目指し、職員のスキルアップをはかり、ネットワークの構築や住民主体の活動をサポートしていく。

#### 【特に力を入れて活動している点】

・つむいでいくということ。

関係機関に限定せず、企業や店舗など様々な機関や機能とのつながり、つむぎ、ネットワークの拡大ができるよう活動している。包括事業を通じ、あるいは、訪問を重ねている。

また、在宅や施設の枠を超えて、多職種連携や専門職と住民のつながり作りなどの活動を行っている。

・地域包括支援センターの広報活動。

#### 【活動の中での課題やその解決策】

課題）地域住民への地域包括支援センターの周知が不十分。また、自立支援の考え方や意識付けが不十分。

解決）関係機関や地域住民などにも協力を呼びかけ、広報活動を行っていく。その中で、介護保険や自立支援などの意識付けなどの方法を検討していく。

地域ケア個別会議の開催で関係者へ自立支援の考え方や実践を伝えていく。

#### 【その他】

・通いの場作り支援事業（とよなかパワーアップ体操）の普及・啓発を行っている。立ち上がったグループに、住民を案内。関係機関にもわかりやすく地図を作成、掲示している。

### 総評

関係機関とのネットワークづくりに、重点的に取り組んでおり、全職員で課題や実績を共有し、目標達成に向け、業務の見直しを行っています。また、研修計画において、進捗状況がわかりやすいものとなっています。

前回の外部評価の内容を踏まえ、業務内容が改善され、記録も整備されていますが、高齢部会の開催において、CSWと打ち合わせ等をした記録も残しておくことが望まれます。

## 好事例

成年後見制度について、「成年後見等申立セット」を活用し、詳細に説明を行っています。  
高齢部会の周知、啓発において、関係機関だけではなく、高齢者の集まるような場所に、継続的にアプローチを行うことで、コンビニ店長の参加が実現し、ネットワークの構築につながっています。また、高齢部会の参加者に対して、独自にまとめた地域情報を提供しています。